

# 守山市立吉身保育園 サービス評価結果記入様式

## 【自己評価の実施にあたって】

- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「欄」のドロップダウンから選択してください(「・」)。
- 認定こども園が評価を行うにあたっては、各項目の「保育所」を「認定こども園」と読み替えてください。

## 【共通評価基準】

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	理念・基本方針はホームページ・パンフレットに掲載している。また、園だよりの中で理念・基本方針を踏まえた考えや行事計画を示している。職員には園長が主となって入職時や職員会議等で方針や理念を伝えている。各職員はその方針に沿って日々の保育が進んでいくように計画し、実施している。一方で継続的な取り組みになっている事が確認できなかった。そのため今後は改善策を検討し”継続的に”取り組んでいく事が期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

#### I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	単月における出費及び利用人数を本部に報告している。法人本部で専門部会を開催し、正常に運営が出来ているか定期的に見極めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	設備点検を2か月に一度、法人本部主導で実施している。月1回は職員で点検し、要修繕箇所は必要に応じて補修を実施している。人材育成に関しては法人本部研修や県主催の研修に参加しており、報告記録や復命書を確認した。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

#### I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	中・長期計画ビジョンを確認した。内容は具体的な見通しを基準にして策定している。今後は、既存の出生人数や人口動態の予測推移から保育園における数年間の受け入れ人数を想定し、具体的な人数推計を元に計画することが期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	年間行事計画や幼児部会年間計画等の中で、単年度の事業計画が充実していることが確認できた。今後は、具体的な数値目標や成果を設定し、それを基準とした評価ができる内容になることが期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	事業計画は管理職を中心に作成し年度初めの職員会議で内容を確認し下半期(10月頃)に見直しを実施している。具体的には夏場の猛暑に対する対応を検討し、それに準じた手順表を作成しそれに基づいて保育を実施した。その他、職員会議に参加できない職員には書面で記録したのを見て確認するよう徹底している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。

7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	入園のしおりをもとに、新入園児の保護者には4月(在園児の保護者には2月)の入園(継続時)説明会で案内している。その他必要な情報については役員会や保護者会の席で共有し周知と理解を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなど方法によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	クラスで決まった事は、主任や園長とも共有し、園全体で保育内容や指針を把握するように務めている。公開保育を実施し他園からの評価を受けることで日々技能の向上に励んでいる。また、第三者評価を毎年受審し改善点を踏まえて保育の質の向上に取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	定められた評価基準にもとづいて、年に回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員間で課題の共有化が図られている。
	評価結果を踏まえ必要に応じ都度改善を行っている。管理職だけでなく、一般職員も評価結果を把握できるように努めており、常に全員で取り組むべき課題を理解し、改善すべき点は全員参画で善処に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	職務分掌については文章化し、組織表を作成して公表している。職員周知に関しては日々の職員会議の場で説明している。管理職の責任所在の内容については園長が筆頭となって報告している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	法人本部が定める内規に沿って相見積もりを取るなど公平性の高い運営を実施している。今後は、環境等への配慮に関して、法令を基準(根拠)に保育内容に反映させていくことが望まれる。		<input type="checkbox"/>	ウ	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	園長は自らも保育現場に入り、現場での取り組みや保育者の保育の様子を確認している。月2回の職員会議には園長も参加し、常に保育計画について把握し、改善点や方向性に関して主導的役割を發揮している。保育者の成長にも配慮し、後進の育成にも尽力している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	有給の取得状況や時間外労働などについては、法人本部がアプリ等を用いて一括管理している。特に職員の欠員・退職等に関しては把握できた段階で法人本部と連携し、過度な職員不足によって現場が混乱しないように事前に人事調整を実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

### II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	新卒職員については相談しやすい体制として年齢の近い先輩職員に相談できる「お姉さん制度」を設けている。また、年間を通じキャリアに応じた研修計画がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	全職員に対して年に1回自己評価を実施している。その内容を含め、法人としての就業規則や人事基準に鑑み、総合的に能力の差異を把握し適切な人事管理になるように努めている。最終的な人事権は法人が担っており、管理職と法人の監督部署が連携し人事についての職員処遇を管理している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	法人として6日間のリフレッシュ休暇を2回取得できる仕組みがある。有給利用に関しては園長が定期的に確認し、規定の日数が取得できるよう声掛けを行っている。またサービス残業が増えすぎないよう園長や管理職が早めに帰宅するように声をかけを実施している。今後は、管理職自ら定時または適切な範囲で仕事を切り上げて帰宅し、職員が帰宅しやすい環境を創り出す工夫が求められる。個々の相談や悩みは管理職だけでなく、法人に相談窓口がある他、「お姉さん制度」という歳や経験年数が近い先輩職員に相談できる制度がある。一方、「お姉さん制度」という愛称については時代や時期を鑑み、従来の性別や保育は女性の職業といった考え(イメージ)に左右されない愛称を考案し用いていく事が求められる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	期待する職員像は毎年の年度初めに伝えている。各職員は年度当初に自分の目標を設定し、自己評価に反映し、個別面談の際に管理職と職員相互に確認する仕組みがある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	期待する職員像は「職員基本マニュアル」に記載している。法人が定めた年間計画を基本に職員間でも会議を重ね、詳細な計画や基本方針に関する会議を図っている。研修については、外部講師による研修(時にzoomによる遠隔研修)を実施している他、職員が参加した各種研修の報告を共有することで意識や技術の向上に役立っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	園長や管理職は職員の学びたい研修に参加できるように配慮し、学びの機会を増やせるように心掛けている。また職員間で学びを還元できるよう、職員会議などの席で研修内容を報告する時間を取っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	実習指導は、全国の保育協会主催の実習指導者研修(ZOOM)を受講(修了)している者が主に担当している。養成校の実習担当教員と連携し、養成校側のねらいや実習生の学びたい目標、経験してみたい年齢(クラス)に合わせて柔軟に対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職職の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

## II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	ホームページやInstagram等のSNSを活用して発信している。特にInstagramでは日々の様子を写真や動画で観る事ができるため、保護者や家族から好評を得ている。今後は第三者評価の受審結果をホームページで閲覧できるようにする事が推奨される。また、運営全体に関する意見等に関しては文書等で公表し、運営の透明性を向上させることが期待される。		<input type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	運営上補修や修繕が必要になった場合は、法人本部の会計規定に沿って業者に対して相見積もりを取り、公正な取引になるように努めている。また、年に1回法人内で内部監査を実施している。その内容や商談の際の基本的なルールに関しては、職員が知るべき範囲については適宜周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

## II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	☑	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	地域との関わり方について、市役所の子育て支援課発行の「ほほえみ」にて文書化している。地域の社会資源の情報は玄関に告知・掲示している。また、地域の民生委員やシニアのボランティアなどが絵本の読み聞かせや紙芝居に参画し、普通の保育者でない者が関わる事で、普通の保育者以外の大人に接する機会を持ち、社会との関わり方や基本的なルールを学んでいる。		☑	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			☑	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			☑	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	☑	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	ボランティア受け入れ時に事前研修を実施している。受け入れマニュアルがあり保険の加入も法人としてできていることが確認できた。今後はボランティア各々から守秘義務の同意書を取ることが推奨される。		☑	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			☑	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			☑	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	☑	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	守山市との共催で年に3回の親子教室、子育てサークル「にこにこ広場」を実施している。「合理的な配慮」が必要な園児の情報や対応策は職員会議で共有している。虐待の疑いのある場合は要保護児童対策連絡協議会と連携している。また、小学校との連携や転園などは引き継ぎ書にて連携している。評価項目に関しては、関係機関・団体が十分に充実している自治体の中にある園であるため、非該当とし、評価結果もaとした。		☑	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			☑	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			☐	オ 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			☑	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	☑	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
	1・2歳児対象の「さくらんぼ教室」を月1回開催し、地域の保護者の子育ての悩み相談や遊び場の提供をおこなっている。保護者や子ども達の生活に役立つ講演会や学習会の情報はチラシを掲示する形でやっている。災害時の地域における役割については災害マニュアルに記載している。発災時の地域との協力体制については、地域との防災協定等の取り組みを進める事が望ましい。		☑	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じた地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			☑	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			☑	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	☑	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	民生委員・児童委員との会議を年に3~4回開催し情報共有している。通りすがりの地域の保護者や乳幼児向けにおむつ交換の場所やトイレを開放しており、建物の道路側にマーク(目印)を掲示している。その他、福祉ニーズを把握した際は守山市と連携して事業計画などに反映し、計画に基づいて実施している。		☑	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			☑	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			☑	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			☑	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

## III 適切な福祉サービスの実施

### III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	☑	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	子どもの自主性を尊重した支援の実践が計画に多く盛り込まれている。具体的には、保育者が子どもの発言を否定しない言葉を用いる事や法人の特徴的な取り組みのひとつである「縦割り保育(3、4、5歳がミックスされたクラス編成)」によって年下への思いやりや年上への憧れが育まれる貴重な機会となっている。また、「子どもの権利を保育に生かそう」という書面の中で、「基本的な考え方」を明示し、子どもとの関わり方を細かく明文化している。年に1度、法人主導で人権に関する「セルフチェック」を実施し意識的に立ち止まる(考える)機会を設けている。		☑	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			☑	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			☑	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			☑	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			☑	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			☑	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)

29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	子どもの権利に関する規定やマニュアルは概ね整備できている。具体的な取り組みとしておむつ交換が他者から見えない配慮をしている他、着換え時に簡易的な仕切りを置いてその中でできるように教えるなど、年齢が低くても性やマイノリティーを含む人権擁護に配慮した環境で生活できるよう心がけている。不適切保育が発生した場合（事案）の対応方法が明示されていないため、今後マニュアルを見直し、明文化することが期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input type="checkbox"/>	キ	不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2)	福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は口）にチェック）	
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	法人のホームページで閲覧でき、分かり易い内容になっている。園に関する資料は市役所にも置いてあり、誰もが手にすることができる。入園希望者には、資料を示して丁寧な説明を行い、見学希望者には適時対応している。地域事情や関連法の改正などがあれば、提供する情報を適宜見直している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	入園にあたっては、入園のおしりや写真等を用いて園での生活や保育内容の説明を行っている。入園後、何か変更事項があった時は、コードモン（アプリ）を通じて連絡し、既読によって確認している。「保護者情報管理要領」の中で、具体的な対応を明文化している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	転園等により保育所を変更する場合、転園先に適切な情報提供を行い、保育の継続性に配慮している。また、転園後の相談にも適宜応じている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3)		利用者満足の向上に努めている。	第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は口）にチェック）
33	① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。（保育所）
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。（保育所）
	行事等の後に保護者満足度アンケートを実施している。その内容を分析し、満足度を評価している。結果の検討会議に代わるものとして、職員会議で周知し、以後の保育や行事に活かしている。保護者懇談会は、乳児は全員参加、幼児は希望者のみで開催している。その他、子どもに気になる変化が見られた場合は、その都度保護者と面談する事で重大な事案にならないように（防止できるように）対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。（保育所）
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。（保育所）
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。（保育所）
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。（保育所）
Ⅲ-1-(4)	利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は口）にチェック）	
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情解決対応の手順が文書化されており、具体的に窓口をはっきりと明示し掲示してある。玄関に意見箱を設置しているが、投函されたことは無く、直接話したいという意向が大半を占めている。申し入れの内容に関しての検討内容や対応策は、保護者に直接フィードバックするが、個人が特定できる場合を考慮し、敢えて公表することは行っていない。今後は、個人が特定できないものや公益性が高い事案（施設的环境や安全面、全般的な保育方針等に関する事）に関しては簡易に、分かり易く文章化し、「解決結果」として保護者の目につきやすい場所に掲示するなら、より高い水準で意見が述べやすい体制が確保されている環境になると期待できる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート（匿名）を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	相談受付に関しては、マニュアルがあり対応の手順が明記されている。職員室の一角に独立した相談室を設置している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。

36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	登園・降園時の何気ない会話から普段との変化などに気付くよう保育者全員が高い意識を持つように努力している。虐待や特変の場合はマニュアルに沿った対応を行うよう職員に指示している。その他意見箱の設置・アンケートの実施等により、保護者の意見把握を図っている。内容によっては職員会議で検討し、保育の実践に反映させる体制を取っている。保護者からの相談・意見に関して対応記録を保管している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	リスクマネジメントマニュアルが整備されており、責任者・手順などの事故発生時の対応体制が明記されている。また、法人全体で、事故に繋がりがねないヒヤリハット(気づき)事例を収集し、共有している。その取り組みによって職員の意識向上と事故発生予防に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	感染症予防マニュアルには具体的な対応策(例:嘔吐物の具体的な処理方法等)が感染症の種類によって整備されている。感染症と発生時の初期対応に関する園内研修を法人内の看護師が講師となって行っている。子どもが嘔吐した時は、その子どもを直ぐに別室に隔離する、換気する、汚物を厳重に包み込む等、感染が拡大しないための初期対応を徹底するように指導している。感染症が発生した場合はコードモン(共有アプリ)で保護者に一斉連絡するルールになっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決まられている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	災害対応マニュアルは火事、水害、地震等、種類毎に作成している。非常時には必ず名簿を携帯する(持ち出す)事がルール化してある。また、行政・消防署・警察等関係機関との連携を防災計画で明確にしている。避難、消火、地震、落雷、不審者侵入等のケースに応じた訓練を毎月実施する安全計画を作成し、実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決まられ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

## Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	年齢に応じた年間計画・月案・週案・日案を策定し、段階的な保育の実施方法が文書化されている。その中で、子どもの人権尊重、プライバシー保護等の権利擁護にも言及している。定期的に保育実践の振り返りを行い、個々に応じた保育を実践している。研修で得られた学びに関しては職員会議等の中で共有し、全員に学びが伝達できるように工夫している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
	保育内容に関する検証・見直しを随時行い、保護者からの意見・提案を反映するように努めている。情報は、「コードモン」に投稿し保護者を含めた関係者全員が共有で閲覧できる仕組みになっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画策定の責任者を設置している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
指導計画策定は責任者を明示している。入園前や進級時にアセスメント(基本評価)を実施し指導計画に反映している。指導計画に沿って保育を実践し、定期的に振り返り、見直しが行われている。特に要支援ケースは管理職、クラス担当者、看護師、市の発達支援課の職員、「言葉の先生(言語聴覚士)」がチームとなって支援計画を策定している。要支援ケースの子どもの保護者とは年3回程面談し、計画を更新している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育課程にもとづく、指導計画が策定されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
基本的に全ての保育は年間指導計画に基づいて実施している。特に月案と週案に関しては、子どもやクラス単位での成長の度合に合わせて各学年毎に見直ししている。「縦割り保育」を基本としているため、保育会議の席で学年を超えて共有することを大切にしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
記録の書き方は一番個々の差異が生じやすい部分であるため、先輩の記録を参考にしながら、実戦で文章力を上げるように指導している。特に文字の大きさを文字数(文章量)を誤魔化す事がないように注意喚起している。「コドモン」と別に「チームス」という職員共有アプリを使い、メッセージやメール機能を使い分けて職員間の情報共有を図っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
記録や情報の取り扱いに関する規定・マニュアルを整備している。文書廃棄はシュレッターで行っている。基本的なルールは規定・マニュアルを熟読するよう職員会議で周知教育している。今後は、外部からのサイバー攻撃等も想定して規定・マニュアルを更新する必要がある。また、十分な「管理体制の確立」のために外部(インターネット環境)からの侵入を防ぐ手立てを法的またセキュリティー面で対策しておく事が求められる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

## 【内容評価基準】

### Ⅳ-1 保育内容

Ⅳ-1-(1) 全体的な計画(保育課程)の編成		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画(保育課程)を編成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	全体的な計画(保育課程)は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をどらえて編成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	全体的な計画(保育課程)は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
全体的な計画は職員会議で随時見直しを行い、月案・月案に関しても職員会議にて作成している。計画策定に際しては、理念や方針をもとにクラス単位で目標(目的)をもって取り組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	全体的な計画(保育課程)は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	全体的な計画(保育課程)は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	全体的な計画(保育課程)は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。

IV-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	各居室温度計や湿度計を設置し、極端に暑い寒いということが無いように管理している。夏は熱中症対策に十分に気を使っている。遊具の管理に関しては安全点検年間計画に基づいて月2回、職員が自主点検を行っている他、年に一回、専門業者による総点検を実施している。また、配慮が必要な園児が落ち着けるように空間に仕切りやスペースが設けられている。遊び道具は自分たちで自由に手に取り選ぶことができるように多くのおもちゃ等を用意している。家具等は角を丸くするなど安全面に配慮した環境が確認できた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように、否定的な言葉ではなく、肯定的な言葉かけをするように全体として統一している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちにきまろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ せかさ言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	給食後、“エプロンをくるくる丸めて片づけることができるようになる(0歳児)”や“食べた食器を自分で下膳し、歯磨きまで自分でできるようになる(3歳から5歳児)”など、学年や個々の成長に合わせて援助している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	「縦割り保育(異年齢保育)」を実践しており、本当の兄弟姉妹のような関係が持てるのが特徴的で、異年齢と一緒に遊ぶ姿が日常の普通の風景として成立している。社会的ルールを遊びや生活の中で自然に身につけることができるように計画的に保育の方向性を立案している。例としてトイレでは線に合わせて靴を揃えることや、座って話を聞く時のマナーやルールを場面を変えて設定し、繰り返し教えるように努めている。身近な自然に触れる部分に関しては、比較的広い園庭で季節を楽しむ事ができる。最近の気象変化の影響で夏場の遊び方には職員が悩んでいるのが現状ではあるが、その中でも工夫して遊べるよう職員が一丸で取り組んでいる。感染症が落ち着いている時期を見計らい、地域とも交流できるようにしている。“ハッピーさん”という愛称のシニア世代のボランティアや、中学生の職業体験、地域の大学生など比較的幅広い年代が関わりを持っており、世代間交流の中で、学んだマナーやルールを応用する貴重な社会経験の場になっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
51	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	0歳児は育児担当制で一人一人の子どもと愛着関係の形成を主眼に保育している。家庭とは夜の様子を含め保護者と24時間体制で保育の切れ目が小さくなるように気を付けている。保護者と保育者はコードモンで密に情報共有し、送り迎えの際の日々の声や表情からも読み取るようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
52	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	園庭は花壇や畑・草木など充実した環境を整備している。遊具も年齢や成長に合わせて徐々に難しい遊具に挑戦できるように様々な仕掛けがある。園児が自分でしようとする気持ちを尊重し、制止したり急かすことなく、見守りながらさりげなくサポートする保育を大切にしている。また、食事後のエプロンの片付けや着替えなども“自分で”できるように環境設定の工夫や働きかけをしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育士等が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。

53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友達とともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	保育者からの働きかけから、子ども同士で協力し、話し合いながら遊びを考え、遊びを展開している。また縦割り保育の良さとして5歳児が3・4歳児への関わりの中から”待つこと”や”サポートする(助けてあげる)”ことも自然とできるように成長している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友達と協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	環境整備については建物が2階建てのため、エレベーターを設置し車椅子でも利用できるようにした。障がいの有無、年齢の差異に関係なく、子ども同士と一緒に遊べる環境になっていることは保護者アンケートでも満足の声があり、一定の成果を挙げている。個々の障がいの内容については個人情報兼ね合いも鑑み、園側から積極的に情報提供することはしていない。一方、保護者からの依頼などがあつた際には公表するようにしている。障がい児を担当する保育者は関係する研修を受講することを規定している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	朝・夕長時間保育の部屋には、どの年齢層でも遊べる玩具を用意し、保育者も飽きずに遊べる工夫や、静かに遊んでクールダウンしてから帰宅できるように配慮するなど保育内容を考えて見守っている。補食(長時間用の夕方のおやつ)は、アレルギー対応の園児でも食べられるようにと、”煎餅”で統一して提供している。職員間また保護者との情報連携に漏れがないように時差出勤の連絡ファイル(申し送り用)で情報共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	年に3回、5歳児と1年生の交流を進学先の小学校でおこなっており、子どもたちが小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。区域外学区でも実施し5校ほどの小学校と協力できている。保護者向けには保育所児童保育要録にて情報提供を行っている。特に要支援児の保護者には親切なお案内と寄り添いを大切にしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
IV-1-(3) 健康管理			第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	看護師が常勤で勤務しており、法人内の幾つかの園と統括で健康管理している。一人ひとりの子どもの健康状態に関してはコードンに入力し、いつでも保護者と共有できる体制がある。インフルエンザ等感染症の流行に関しては、守山市より近隣保育施設や学校の欠席状況や感染状況が通達される仕組みがあり、看護師を中心に予防対策など重視して取り組んでいる。既往歴や予防接種状況は保護者が児童票(保健台帳)を年度初めに記入し再提出することになっている。基本的には園側で児童票を管理している。SIDSの研修は必ず受講し、満1歳までは睡眠(お昼寝)時の呼吸の確認、うつ伏せで寝ていないか目視での確認を徹底している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	全ての健診結果は家庭と共有し、検査結果によっては個別計画を追記・更新し、保護者のフォローも並行して行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	「アレルギー対応マニュアル」に沿って全て実施している。アレルギー対応が必要な園児の茶わんやトレイ、着席の場所も別にするなどアレルギーが混入しないように徹底した対応をしている。エビタンが必要な園児に対しての対応研修も受講している。個別のアレルギーに関しては、メニュー表を事前に保護者に配布しチェックするルールになっている。卵料理に関しては、全体の食材から外し、間違いが起きないように工夫している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。

IV-1-(4) 食事		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
「食育計画」を立て、旬の食べ物を大事にし、園内で野菜を育て収穫したものを給食に取り入れている。自分たちで育てた野菜なら食べる事ができるなど、リアルな体験を大切に食育を進めている。食器の材質はあえて陶器を用い、「落とすと割れる」事を学ぶことで、丁寧に食器を扱うことができるようになることを保育者の経験としての学びを積み重ねてきた。また配膳の際に自分である程度量を調整したり、おかわりも一定のルールの中で自由に判断できるように保育者が声をかけるなど、園児と保育者のペースが乖離しないように工夫している。また、苦手な食材に関しては無理矢理食べさせるのではなく、「一口だけ食べてみようか?」と体験してみることを促す事で少しずつ苦手を克服し、食べること、給食の時間が楽しみになるように援助している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。		
61	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
給食も保育の一環、成長の材料としてとらえ、献立にも工夫を凝らしている。「子どもたちのリクエストメニューの日」や、食で行事や地域の伝統を感じられるように「行事食」・「地域食」、月1回は「日本の味めぐりメニュー」など毎日の給食が楽しみになるような仕掛けを用意している。栄養士や調理師が子どもたちの食事の様子を巡回して観察し、保育士と栄養士が残食などについて話し合う機会を設けている。そのことによって、食材の形態やメニューの変更など給食計画を更新している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

## IV-2 子育て支援

IV-2-(1) 家庭との緊密な連携		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
乳児・幼児で多少の差はあるが、基本は綿密な情報交換を共有アプリや口頭での伝達で行っている。保育の意図や内容は、懇談会やクラスだより、園便り等で常々伝えている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
IV-2-(2) 保護者等の支援		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築く取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
毎朝、園長が入り口で保護者と園児を迎え入れ声をかけている。教室の入り口ではクラス担任が保護者とコミュニケーションを取り、前夜から朝の様子を引き継いでいる。また、夕方も屋間の様子を伝え、24時間切れ目が少なく支援できるように努めている。気兼ねなく相談できるように、個室の相談室を設けている。保護者から個別に相談したいと要請があった場合は、段階に応じて担当保育士や主任保育士が対応し、場合によって園長が直接対応する体制になっている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
要支援・要保護児童に関してはクラス内で情報共有し関係機関とも随時連携し報告している。有事は虐待権利侵害マニュアルを元に行動するよう管理職が指導している。昨年度は性被害の対応について園内研修を実施し、さらなる学びを深めた実績もある。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづき職員研修を実施している。

## IV-3 保育の質の向上

IV-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り自己評価を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
管理職は職員が定期的に自己評価を書いて振り返りをするように指導している。園長はその自己評価を参考に個別面談を実施している。苦手な分野を改善できるように相談に乗り、必要に応じて適切な研修への受講を促し、保育者の育成に向けて日々尽力している。また、得意な分野やキャリアアップの点でも法人がバックアップしている。それによって、法人または園全体の専門性の向上に貢献している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。